

活動名	団体名
香月泰男生誕100年記念 小・中・高校生のための教材制作～わたしのシベリア～	特定非営利活動法人 子どもとともに山口県の文化を育てる会
	地 域 山口県山口市
	代 表 者 理事長・実行委員会長 山田 宏
	支援金額 30万円
活動概要	
当会NPO設立10周年企画事業 山口県で第66回国民体育大会が開催される2011年は、「シベリア・シリーズ」で知られる洋画家、香月泰男の生誕100年にあたります。 香月を輩出した山口県では各地の美術館で、記念展覧会などの行事が開催準備中です。その記念年に、厳しい戦争体験に基づき香月が自らの芸術を通して表現した、平和への強いメッセージを永く後世に継承するためにDVDを制作しました。	
<p>◆実施時期 (西暦)2010年4月1日～2011年 3月21日 山口県内全小・中・高等学校、特別支援学校など 653校</p> <p>◆参加人数 ◇対象者 山口県内全小・中・高等学校、及び山口県内特別支援学校児童生徒など ・市町校 - 516校 ・県立中高一貫校 - 2校 ・県立高校 - 64校 ・特別支援学校 - 16校 ・市立高校 - 1校 ・私立中高等学校 - 35校 ・国立学校 - 5校 ・山口県教育庁 - 14箇所 <全配布数 653箇所></p>	



香月家取材



長門市立明倫小学校取材



長門市立明倫小学校取材



DVD～わたしのシベリア～視聴会
於 山口市立中央小学校

◆基本的な構成

香月泰男の戦争虜囚体験と復員後の絵画化、及びそのテーマを分析して、1つのストーリーにまとめて映像化する。そのストーリーに、原画、イメージ画、記録写真、記録映像等を効果的に組み合わせ、音楽・ナレーションを入れ、約20分のドキュメンタリー作品とする。

- ・戦争と抑留生活の体験(絵画とイメージ映像)
- ・香月泰男のシベリアシリーズの作品
- ・家族に宛てた絵手紙
- ・山口県長門市三隅町の香月家と婦美子夫人の話
- ・サンジュアン(豆の木)に込まれた香月の思いなど

※イメージ画制作は、山口大学教育学部美術教室が担当する。その為のワークショップを開催。

◆実施に伴う効果

本会は「Arts are Basic」(芸術・文化は教育の基礎)を原点に、質の高い芸術や文化に接する機会を創り子どもとともに学び、心豊かな生活をすることを目的に事業を継続している。この度、香月泰男が芸術を通して表現した「戦争と平和～命～」などについて考える機会とした。人間性の明と暗、家族愛と絆など「生きる」ということをテーマに、学校教育現場において子ども達とともに学ぶ機会とし、美術館で香月芸術に触れることで、地球上の全ての命を大切にする心根を育成できると確信する。

◆今後の課題・発展の方向性

本会では、子ども達の読書離れを危惧し、2003年より「朗読と音楽の集い」～心に響きあうことば～実行委員会(実行委員長-磯野恭子)を設立し、何百年も続いた名文、美しい日本語や詩、及び募集した作文などを朗読と音楽を組み合わせた事業を県内各所で継続している。

また、第21回国民文化祭山口2006に際し、山口県立美術館では「雪舟展」が開催されるにあたり、同実行委員会で、雪舟の生い立ちや絵が生まれた背景、日本一の名声をとった雪舟の絵をドキュメンタリータッチで描いた作品も加えたDVDを制作し、絵と日本語のハーモニーを県内三箇所で国文祭イベントとし実施した。子ども達から大きな反響があり、引き続き子ども達のために山口県出身芸術家たちのドキュメンタリー制作を計画。

◆活動を終えての感想・意見等

山口県教育委員会では、平成23年度から「地域や伝統、文化を踏まえた教育」充実のための授業が設けられ、その第一回目が香月泰男です。その資料として同DVD～わたしのシベリア～が活用されることになりました。それに先立ち、去る2月15日に山口市立中央小学校において授業の一環とする『DVD～わたしのシベリア～試聴会』が開催されました。